



福岡医発第1537号(地)
平成27年 9月 3日

各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会
会長 松 田 峻一良
(公 印 省 略)

成人の重症肺炎サーベイランス構築に関する研究について

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

さて、平成25年4月1日より予防接種法の改正に伴い、小児の肺炎球菌感染症及びHib感染症が定期接種の対象となり、また、同時期の感染症法施行規則の改正に伴い、侵襲性肺炎球菌感染症（以下「IPD」）及び侵襲性インフルエンザ菌感染症が五類感染症の全数把握対象疾病として、都道府県知事への届出が義務付けられました。さらに、平成26年10月からは、高齢者における成人用肺炎球菌ワクチンの定期接種も開始されております。このような背景から今後、IPDの原因菌の血清型分布の変化及びインフルエンザ菌の無莢膜型の増加が予想されるため、平成25年度より感染症発生動向に対応する病原体情報の収集を目的として、「厚生労働科学研究補助金（新型インフルエンザ等新興・再興感染症事業）」において「成人の重症肺炎サーベイランス構築に関する研究」が実施されているところです。

本件は、15歳以上の患者に対し、IPD及び侵襲性インフルエンザ菌感染症と診断した場合、別紙（侵襲性感染症調査票）の記入及び診断に用いた臨床分離菌株の分与について、感染症法に基づき発生届を提出した保健所へ、菌株を確保した旨の連絡についてお願いするものであり、本県では、これまで福岡県結核・感染症発生動向調査事業の基幹定点（基幹病原体定点）医療機関に本調査へ協力をいただいておりますが、当該感染症が全数把握対象感染症であり、さらに今後の分与される臨床分離菌株が増加することを目的とし、今般、別紙のとおり、福岡県保健医療介護部長より全医療機関への周知について依頼がありました。そこで、本件につきまして、平成27年8月20日開催の本会第16回全理事会で協議の結果、全会員医療機関への周知について協力することといたしました。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了知のうえ、貴会管下医療機関に本調査にご協力いただきますよう、周知方よろしくお願い申し上げます。

小郡三井医師会より

感染症対策担当理事 田中泰之
会長 廣瀬真恵

27保衛第1348号

平成27年8月3日

公益社団法人福岡県医師会長 殿

福岡県保健医療介護部長
(保健衛生課感染症係)

成人の重症肺炎サーベイランス構築に関する研究について

本県の保健医療行政の推進につきましては、平素から格別の御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

本研究については、「成人の侵襲性細菌感染症サーベイランス構築に関する研究について」(平成26年6月25日付26保衛第915号)及び「成人の重症肺炎サーベイランス構築に関する研究について」(平成27年5月27日付27保衛第597号)にて、御協力いただいているところです。

今般、厚生労働省健康局結核感染症課から、別添(写)のとおり事務連絡があり、再度協力依頼がありました。

本県においては、基幹定点(基幹病原体定点)医療機関に御協力いただいておりますが、今回、再度の依頼を受け、基幹定点(基幹病原体定点)医療機関だけでなく、全医療機関を対象にすることとしましたので、貴会におかれましても、当該研究の主旨を御理解の上、御協力いただきますようお願いします。

なお、当該研究の実施に際しては、基幹定点(基幹病原体定点)医療機関を含む全ての医療機関への周知を、再度お願いいたします。

(担当)

福岡県保健医療介護部保健衛生課
感染症係 中山

TEL:092-643-3268

FAX:092-643-3282



事 務 連 絡

平成 27 年 8 月 3 日

{	福 岡 県	}	衛生主管部（局） 感染症対策課 御中
	北九州市		
	福 岡 市		
	久留米市		
	大牟田市		

厚生労働省健康局結核感染症課

成人の重症肺炎サーベイランス構築に関する研究について（協力依頼）

標記について、本年 5 月 25 日付け事務連絡により、医療機関への協力を依頼していただきますようお願いしたところですが、引き続き、分離菌株（血液、髄液などから分離）及び追加の臨床情報の提供について、医療機関へ協力依頼をしていただきますようお願いいたします。

なお、本件の詳細については、下記にお問い合わせ願います。

記

研究課題名：「成人の重症肺炎サーベイランス構築に関する研究」

研究代表者：大石 和徳（おおいしかずのり）

研 究 機 関：国立感染症研究所 感染症疫学センター

連 絡 先：電話番号：03-5285-1111（内線 2501）

F A X：03-5285-1129

別紙

成人の侵襲性細菌感染症サーベイランスに関する 研究に係る依頼内容等について

成人の侵襲性細菌感染症サーベイランス構築に関する研究（研究代表者：大石和徳（国立感染症研究所・感染症疫学センター長））について、依頼する内容等については以下のとおりです。

1 研究の目的

（１）肺炎球菌感染症について

わが国の人口ベースの成人における侵襲性肺炎球菌感染症（以下、IPD という。）の罹患率を算出する体制の構築及び分離菌株の血清型決定を行い、IPD の血清型分布を明らかにすること。

（２）インフルエンザ菌感染症について

わが国の人口ベースの成人における侵襲性インフルエンザ菌感染症の罹患率を算出する体制を構築及び分離菌株の莢膜血清型決定を行い、莢膜株か、無莢膜株かについて明らかにすること。

2 研究の対象

本県においては、全ての医療機関において、15歳以上のIPDおよび侵襲性インフルエンザ菌感染症の症例を対象とします。

3 依頼内容

IPD 及び侵襲性インフルエンザ菌感染症と患者（15歳以上）を診断した場合、別紙（侵襲性感染症調査票）の記入及び診断に用いた臨床分離菌株の分与をお願いします。

併せて、感染症法に基づき発生届を提出した保健所へ、調査票の記入及び菌株を確保した旨の連絡をお願いします。

侵襲性感染症調査票 ※肺炎球菌 ・ インフルエンザ菌

厚生労働省指定研究班

記入日

年 月 日

●発生動向調査ID		報告医師の氏名
報告医療機関名		

性別	①男 ②女	診断時の年齢	歳 ヶ月
院内ID(カルテ番号)		生年月日	年 月 日
喫煙歴	①あり(本/日、年間) ②なし	身長(cm)	(cm)
アルコール多飲	①あり ②なし	体重(kg)	(kg)
入院・外来の別	①入院 ②外来	★入院日数(入院の場合)	日間
★転帰(入院の場合)	①軽快 ②死亡 ③転院	★退院(死亡)日	年 月 日
★合併症(ある場合)		人工呼吸器管理	①あり ②なし
★後遺症(ある場合)		集中治療室(ICU)管理	①あり ②なし

基礎疾患 (複数選択可)	・ 無脾症・脾低形成 (有・無) → 有の場合、その理由 (脾臓摘出・先天性・その他) ・ 免疫不全(有・無) → 有の場合、その理由(複数選択可): □自己免疫疾患(内容:) - ステロイドの投与(有・無) 生物学的製剤の投与(有・無) □悪性腫瘍(内容:) 抗がん剤の投与 (有・無) □臓器・骨髄移植(内容:) 免疫抑制剤の投与 (有・無) □免疫不全を来す疾患(内容:) ・ その他の基礎疾患 (有・無)
-----------------	---

病型(ひとつ選択)	①敗血症 ②髄膜炎 ③菌血症を伴う肺炎 ④菌血症を伴う髄膜炎 ⑤関節炎 ⑥菌血症を伴う関節炎 ⑦肺炎と菌血症を伴う髄膜炎 ⑧その他()
肺炎の場合の診断根拠 (複数選択可)	①胸部X線画像 ②胸部CT画像 ③画像診断なし(臨床診断) ④気道検体から培養陽性
髄膜炎の場合の診断根拠 (複数選択可)	①髄膜刺激症状など臨床症状 ②血液培養陽性 ③髄液培養陽性 ④髄液抗原陽性
合併したウイルス感染 (複数選択可)	①インフルエンザウイルス感染 (有・無) 診断根拠 (迅速キット・その他) ②その他()
初期治療 (複数選択可)	①抗菌薬 (有・無) (詳細:) ②その他 ()

インフルエンザウイルス ワクチン接種歴	・ 直近1年間の接種(有・無) → 有の場合:接種日(年 月頃)
成人用肺炎球菌ワクチン (ニューモバックスNP)接種歴	・ 直近5年間の接種(有・無) → 有の場合:接種日(年 月頃)

(記入上の注意)

- ・ ●印以外の部分についてご記入ください。なお、★につきましては退院時等に追記していただき、届出保健所・再度提出をお願いいたします。
- ・ 検体検査の結果につきましては、後日、本用紙にてご回答申し上げます。
- ・ ワクチンの接種状況が不明の場合には、本人に再度ご確認の上、ご記入ください。
特に肺炎球菌ワクチンの接種状況については、発生動向調査にも補足頂いた上で届出をお願い申し上げます

報告(血清型診断結果)

※国立感染症研究所での解析結果を主治医の先生にご報告申し上げます。

事 務 連 絡

平成 25 年 10 月 23 日

(別 記) 衛生主管部 (局)

感染症対策担当課 御中

厚生労働省健康局結核感染症課

成人の侵襲性細菌感染症サーベイランス構築に関する
研究について (協力依頼)

日頃より、感染症対策にご協力を賜り、ありがとうございます。

平成 25 年 4 月 1 日より予防接種法の改正に伴い、小児の肺炎球菌感染症及び Hib 感染症が定期接種の対象となり、さらに、同時期から、感染症法施行規則の改正に伴い、侵襲性肺炎球菌感染症及び侵襲性インフルエンザ菌感染症が五類感染症の全数把握対象疾患として、都道府県知事への届出が義務づけられたところです。

今般、感染症発生動向に対応する病原体情報の収集等を目的として、「厚生労働科学研究費補助金 (新型インフルエンザ等新興・再興感染症研究事業)」において、「成人の侵襲性細菌感染症サーベイランス構築に関する研究」(研究代表者: 大石和徳) を実施することとなりました。

つきましては、本研究事業に対して、分離菌株 (血液、髄液などから分離) 及び追加の臨床情報をご提供いただけるよう、医療機関に協力を依頼していただきますようよろしくお願いいたします。

なお、本件の詳細については、下記までお問い合わせ方よろしくお願いいたします。

記

研究課題名: 「成人の侵襲性細菌感染症サーベイランス構築に関する研究」

研究代表者: 大石 和徳 (おおいしかずのり)

研 究 機 関: 国立感染症研究所・感染症疫学センター

連 絡 先: 電話番号: 03-5285-1111 (内線 2501)

F A X: 03-5285-1129